

台風反省

六月三日から七月一日にかけ襲った台風六号は、霞ヶ浦、北浦の網いけすにも大きな被害をもたらせました。

台風による網いけすの被害は、昭和五十四年にも起きています。五十四年の場合は、今回に比較して、網いけす施設の損壊が自立していました。風の強さや水位などから、一概には言われないとは思いますが、皆さんから聞い

た話して、次のことが判りました。

◎今回、壊れた施設は、前回の台風で壊れずに残ったものが多い。

◎施設の高さ（桝橋の高さ）が低いものが、被害を受けた。

新しく作られた施設は、支えの鉄骨などで補強され、以前のものに比較すると、かなり丈夫になっているようです。しかし、施設が頑丈になっても、網地が破れては困ります。

私達は今迄、台風による被害は、十年に一度あるかないかの事故であると考え、施設の強度などの研究は、

していませんでしたが、これから、養殖施設についても研究を進めて行く必要があるのではないかと考えています。

これから、酸欠のシーズンです。台風の影響を受け、更に酸欠も、とらうないように願っています。

ワカサギ漁を占う

七月九日、漁連、漁協等の協力を得て、霞ヶ浦、北浦で、ワカサギの試験採集を実施しましたので、その結果を報告します。

◎霞ヶ浦

五十八年、五十九年と、二年続きの好漁で、本年

茨内水試図

の親魚量は例年になく多く、従って産卵量も多かったものと予想されましたが、ワカサギ仔魚の餌が、昨年より少なかった為か、産卵量が多い割には、仔魚の生残は少なかつたようです。予想漁獲量は、約八〇トンです。

◎北浦

試験場では、三月下旬からワカサギ仔魚の採捕調査を行っていますが、今年度は、過去三カ年では最終で、ワカサギの不漁が心配されていました。ふ化した仔魚の餌も霞ヶ浦と同じように昨年より少なく、この為かもしれませんが、予想は、一五〇トンです。